

事業所名 アフタースクールまなびい 支援プログラム（参考様式） 作成日 令和7年 2月 1日

法人（事業所）理念	「出来た」という経験を重ね自分に自信を育み、自己肯定感を育てる		
支援方針	遊びや学習、さまざまな活動を通じて、「出来た」という経験から自己肯定感を高め、集団活動におけるルールやコミュニケーションの取り方を学べるよう支援していく		
営業時間	平日 土・日祝日	11時 30分 から 17時 30分 まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
本人 支 援	健康・生活	偏食を減らせるよう、行事の中でクッキングを取り入れ、みんなで楽しく調理することで、食べる経験を重ねます。食べられなかった場合は、本児と話し合いながらどのような調理方法にすれば食べられるかを工夫し、試してみることで食べられた時には一緒に喜びを分かち合う	
	運動・感覚	自分でプリントを切り離し、順番に並べ揃えられるように、紙の端や角を視覚的に示し、職員が見本を見せながら支援します。また、公文式教材（ズンズン教材）を活用し、鉛筆でなぞったり塗りつぶしたりすることで、指先の筋力を強化していく	
	認知・行動	公文式教材を活用し、取り組んだ課題ができた際には職員が本児を褒めることで、「出来た」という経験を積み重ね、自己肯定感を高めます。そして、自ら学習に取り組めるよう支援していく	
	言語 コミュニケーション	場に適した言葉や表現ができるよう、困った時には職員が助言をしながら見本を示します。また、場にそぐわない行動や言動があった際には、職員が具体的な適切な行動の見本を示し、本児が伝わる楽しさを実感できるよう支援する	
	人間関係 社会性	放課後デイサービスを通じて、公共交通機関を利用する際のルールや外食時のマナー、お金の支払い方、使い方、また、わからないことがあった場合にどのように人に尋ねるかについて事前に学習し、実際に外出して経験を積むことで、人間関係や社会性を養っていく	
家族支援	家族と共通の理解を持ちながら、送迎時に家庭での様子や事業所での様子を共有し、支援方法について確認を行っていく	移行支援	卒業後の進路について家族と連携しながら、移行支援を行っていく
地域支援・地域連携	地域のお祭り・地域の公園での他児童との交流	職員の質の向上	LINEを活用して支援中の様子や家庭での様子を共有し、職員同士でアドバイスをを行うことで、職員の質の向上を図る
主な行事等	季節を感じる行事 雪まつり、さくらんぼ、クリスマス会、進級お祝い会、豆まき、ひな祭り、クッキング、外食体験		